

未来に向けて存続する

まちづくりを目指して

あけましておめでとうござ
います。

町民の皆様におかれましては、
ご家族お揃いでの輝かしい新
春をお迎えのこととお喜び申
し上げます。

町民の皆様より町政を預か
り1期目が過ぎ、再び町政の
運営を担うことになりました。

これまで公約してきた農林
業の振興、若者定住対策、子
育て支援、交流人口の拡大に
よる産業の振興と雇用の創出
などの施策を、ほぼ実現して
いるところです。

一昨年のファミリーマート
+COOP七ヶ宿店とコイン
ランドリーのオープンに引き
続き、昨年は、多目的交流施設
「Book&Cafe」らっ
しえ、ふるさと体験交流館「街
道HOSTELおたて」がオー
プンし、また、本町で初の民
間アパートも完成しました。

柏木山放牧場に建設をして
いました、シャープ七ヶ宿太
陽光発電所も9月より売電を

開始し、順調な運営を行って
いると伺っています。

今後におきましても、町民
の皆様から貴重な御意見、御
提言を頂戴し作成した、ふる
さと創生総合戦略で計画して
いる事業を実現していきます。

今年、整備を進めている
「なないろひろば」に、町民の暮
らしを守るガソリンスタンド
「便利屋商店」と、木質バイオマ
スを利用した日帰り入浴施設
のオープンが間近となっています。
また、更なる交流人口
の拡大を図るため、横川・長老
周辺の南蔵王エリアの整備に
着手します。

また、24時間電話対応の健
康相談事業や保育料及び学校
給食費の無料化、18歳までの
医療費の無料化などの子育て
支援事業を始め、脳ドック事
業、20歳の人間ドック、住民
健診の充実などの健康推進事
業を引き続き実施していきま
す。さらに、高齢者の皆様が、
自宅での暮らしが長く続けら

れるように、居宅介護支援セ
ンターを中心に、一人一人に
応じた、きめ細やかな介護や
福祉の支援をこれからも続け
ていきます。

地方自治を取り巻く環境は、
極めて厳しい状況ですが、子
どもから高齢者まで、夢と誇
りを持ち続け「町民が安心して
暮らせる町づくり」を目指すと
ともに、「未来に向けて存続す
る七ヶ宿」の実現のため、全力
を傾注していきますので、町
民の皆様のご理解とご協力を
賜りますよう重ねてお願い申
し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご多
幸をお祈りいたしました。新
年のごあいさつといたします。

「町民と連携する議会」を目指して

七ヶ宿町議会議長 菅 原 研 治

謹んで新春のご挨拶を申し
上げます。

町民の皆様には穏やかな新
年をお迎えのこととお喜びを
申し上げます。

昨年は草津白根山の噴火や
西日本の豪雨災害、更には厚
真町で最大震度7を観測した
北海道胆振東部地震など、全
国的に災害の多発した1年で
したが、本町では幸い自然災
害による被害もなく、皆様に
は比較的穏やかな日々を過ご
されたこととご推察申し上げ
ます。

今年は今上天皇がご退位
され、新たな年号に改まる歴
史的な節目の年となります。
町議会も昨年9月の改選期よ
り議員の定数を1名削減し、
定数8名の新たな体制による
スタートとなり、町民の皆様
との連携を最大の目標に掲げ、
協働による新たな議会づくり
に取り組みながら、議会に付
託された本来の目的と機能を

しっかりと果たしていきたい
と考えています。

数年来、少子高齢化の問題
を大きく抱えているわが町に
とって、住民福祉向上への取
り組みは最重要課題であり、
特に医療福祉への更なる充実
が求められています。また、地
域産業の振興でも、町の基幹産
業である農林業の環境整備や
担い手の確保など、重要な課
題が山積しています。また、

教育関係では学習環境の整備
など、児童の学習意欲向上を
図るための調査研究を進める
必要があります。更には、な
ないろひろば整備やふるさと
体験交流施設などの事業効果
も、しっかりと検証する必要
があることから、昨年の12月
定例会で「議会改革検討特別
委員会」と「地方創生検討特別
委員会」を新たに設置したと
ころです。

本年も町発展のために一層
の努力をしてまいりますので、

皆様のご理解とご協力、更
には多くのご意見やご提言を賜
りますよう重ねてお願い申し
上げます。
結びに、皆様のご健勝とご
多幸を心よりご祈念申し上げ
町議会を代表し年頭のご挨拶
と致します。

平成31年
新年のご挨拶を申し上げます